

新入生の皆さん、聖カタリナ学園高等学校への入学、おめでとう。

地球の温暖化が進んで、桜は葉桜になり、木々の新緑が映える中での入学式になりました。

新型コロナウイルスは、一年以上たった今も収まる気配を見せておりません。

ウィルスが人間への悪意を持って増えているのではありません。私たち人間が人から人にうつしてしまっているのです。地球の温暖化もそうですが、私たち人間は、今、この地球上に生きる市民として、自分たちの文明・自分たちの生活を見直さなければいけない岐路に立たされているのです。

義務教育を終えた皆さんは、一人前の判断力を持った市民にならなくてはなりません。

高等学校は、上級学校への進学だけを指す予備校ではありません。一人ひとりが学びの先に、自覚を持った市民になるための場でもあります。

本校は、キリスト教カトリックの精神に基づいて、1925年に創設された伝統ある学校です。その校訓は皆さんの左前方にも掲げてある、「誠実・高潔・奉仕」です。

これは、生徒の皆さんのためだけの目標ではなく、同じ市民である私たち教職員も、大事にしなければならない徳目です。

この校訓の精神を身に着けるために、校長は「自分を知る」「他者を知る」「世界を知る」と呼びかけています。本校の学校教育目標です。

まず、自分自身をよく知ろうとしてください。そのために、これまでの自分をしっかり振り返ってください。振り返ってみて、改めた方がよいと思うところは自分で改めるようにして、今より少しでもよい自分、新しい自分を目指していきましょう。

次に、他者をよく知ろうとしてください。他者、特に身近にいる自分以外の人、つまり家族や友達などの声をよく聴き、できたら相手の心の中の声にまで耳を傾けて、お互いを認め合い、尊重し合うようにしましょう。

そして、世界をよく知ろうとしてください。視野をできるだけ広くし、心も広くして、自分の頭の中を自分のことだけでいっぱいにならないで、世の中のどんな人とも力を合わせられるようになりましょう。

(略)

本校は4年後に創立百周年を迎えます。

カトリック精神に基づく100年の伝統の上に、地球の未来を見据えた教育を展開するのにふさわしい環境を整えていきます。

女子寮と食堂カタリナカフェが新しくなりました。今年度は校舎の本館も新築します。次々と新しくなっていく学校の変貌を楽しみにしながら、その清潔な環境の中で、高校生として、市民として、センスを磨き、品位のあるマナーを身に着けていってください。

普通科で、文字通りグローバルシティズンシップスピリットを持って大学進学を目指す人やスポーツの大きな夢を目指す人、総合学科で、新系列を含めた多彩な学びを楽しみにしている人、看護科で、男女共学1期生として、共に最終目標達成を目指そうとしている人、皆さんの一人ひとりが、本校らしい学びを楽しめる高校生、学校に誇りを持って、晴れやかな笑顔で登校する高校生になってくれることを期待して、式辞といたします。